

配線完了後、リモコン受信機を接続する前に接続タイプごとの手順で配線を確認してください。

手順以外の差込は破損の元になりますので、絶対にしないように注意してください。

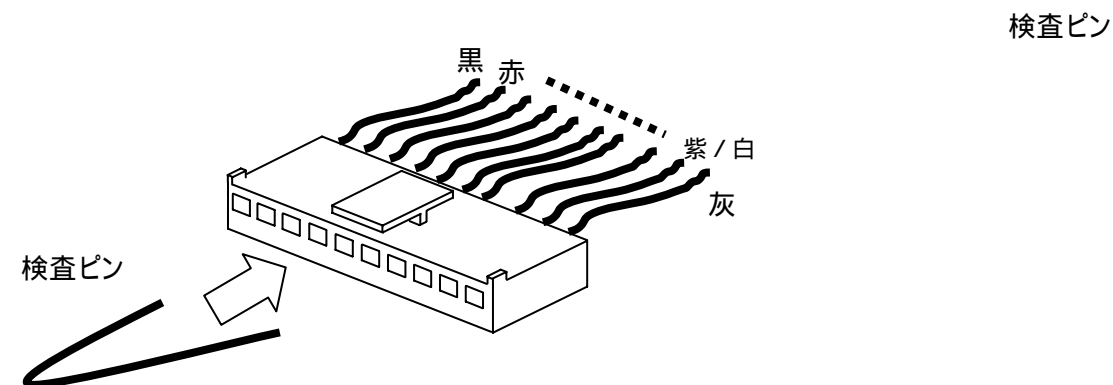
Aタイプ配線検査手順

順序	検査方法	車両の動作	異常の場合の不良原因
1	緑 / 白と黒の穴に検査ピンを約 1 秒差し込む。	ロック	緑 / 白または黒線の結線不良
2	緑と黒の穴に検査ピンを約 1 秒差し込む。	アンロック	緑線の結線不良
3	緑 / 白と紫 / 白の穴に検査ピンを約 1 秒差し込む	ロック	紫 / 白線の結線不良
4	緑と紫の穴に検査ピンを約 1 秒差し込む。	アンロック	紫線の結線不良
5	灰と赤の穴に検査ピンを約 1 秒差し込む。	差し込んでいる間 両ウインカー点灯	ウインカー線または赤線の結線不良
6	リモコン受信機を接続し、リモコンで動作させる。	ロック アンロック	受信機またはリモコンの初期不良

Dタイプ配線検査手順

配線完了後、リモコン受信機を接続する前に次の手順で配線を確認してください。

順序	検査方法	車両の動作	異常の場合の不良原因
1	緑 / 白と赤の穴に検査ピンを約 1 秒差し込む。	ロック	緑 / 白または赤線の結線不良
2	緑と赤の穴に検査ピンを約 1 秒差し込む。	アンロック	緑線の結線不良
3	緑 / 白と紫 / 白の穴に検査ピンを約 1 秒差し込む。	ロック	紫 / 白線の結線不良
4	紫と緑の穴に検査ピンを約 1 秒差し込む。	アンロック	紫線の結線不良
5	灰と赤の穴に検査ピンを約 1 秒差し込む。	差し込んでいる間 両ウインカー点灯	ウインカー線の結線不良
6	リモコン受信機を接続し、リモコンで動作させる。	ロック アンロック	黒線の結線不良 受信機またはリモコンの初期不良



Bタイプ・Cタイプ配線検査手順

順序	検査方法	車両の動作	異常の場合の不良原因
1	緑と青の穴に検査ピンを 1 本差し込んだ状態で、 緑 / 白と赤の穴に別の検査ピンを約 1 秒差し込む。	ロック	緑、青、緑 / 白または赤線の結線不良
2	緑 / 白と青 / 白の穴に検査ピンを 1 本差し込んだ状態 で、緑と赤の穴に別の検査ピンを約 1 秒差し込む。	アンロック	青 / 白または緑線の結線不良
3	緑と青の穴に検査ピンを 1 本差し込んだ状態で、 緑 / 白と紫 / 白の穴に別の検査ピンを約 1 秒差し込む。	ロック	紫 / 白線の結線不良
4	緑 / 白と青 / 白の穴に検査ピンを 1 本差し込んだ状態 で、緑と紫の穴に検査ピンを約 1 秒差し込む。	アンロック	紫線の結線不良
5	灰と赤の穴に検査ピンを約 1 秒差し込む。	差し込んでいる間 両ウインカー点灯	ウインカー線または赤線の結線不良
6	リモコン受信機を接続し、リモコンで動作させる。	ロック アンロック	黒線の結線不良 受信機またはリモコンの初期不良

2本の検査ピンは、絶対にショートさせないようにしてください。

ペンツタイプ配線検査手順

順序	検査方法	車両の動作	異常の場合の不良原因
1	緑 / 白と黒の穴に検査ピンを約 1 秒差し込む。	ロック	緑 / 白または黒線の結線不良
2	緑 / 白と赤の穴に検査ピンを約 1 秒差し込む。	アンロック	赤線の結線不良
3	緑 / 白と紫 / 白の穴に検査ピンを約 1 秒差し込む。	ロック	紫 / 白線の結線不良
4	緑 / 白と紫の穴に検査ピンを約 1 秒差し込む。	アンロック	紫線の結線不良
5	灰と赤の穴に検査ピンを約 1 秒差し込む。	差し込んでいる間 両ウインカー点灯	ウインカー線の結線不良 左が点かない 黒 / 白の結線不良 右が点かない 黒 / 緑の結線不良
6	リモコン受信機を接続し、リモコンで動作させる。	ロック アンロック	青 / 白または緑線の結線不良 受信機またはリモコンの初期不良

【ハザード接続モジュール】

灰色の線で、1本から2本の二股になっているものが、ハザード接続モジュールです。

1本側をキーレスの灰色と接続し、2本側を左右のウインカー線に接続します。左右どちらにつないでもかまいません。

【カミナリマークボタン(ロケーター機能)】

カミナリマークボタンを1回押すとロック・アンロックとは関係なく、ハザードが点滅します。もう1回押すかロックまたはアンロックすると止まります。何も操作しない場合は、30秒後に自動的に停止します。駐車場等で自分の車を探すとき等に使用します。

【感度について】

受信機から出ている黒い線がアンテナです。この線をまっすぐに垂直または水平に伸ばしてください。

車種によって垂直がいい場合と水平がいい場合があります。また、受信機も水平または垂直に設置するなど工夫してください。アンテナ線は、絶対にアースまたは電源につながらないようにしてください。

また、出荷時の電池はあくまでモニター電池ですので、本来の寿命より短い場合があります。感度が徐々に落ちてきた場合は、新しい電池に交換してください。

もし、現行の感度でご満足いただけない場合は、感度調整方法も資料閲覧ページに記載しております。